

総合2023 自分軸を考える～なに、なぜ、どうする～

第14回 10月5日(木) 13:00～14:30

生い立ち関係なく、
誰でも好きな自分になれる!



田中れいか氏

一般社団法人たすけあい、ゆめさぼ 代表理事

会場:津田塾大学小平キャンパス特別教室

<講師プロフィール>

親の離婚をきっかけに、7歳から18歳までの11年間東京都世田谷区にある児童養護施設で暮らす。退所後、短期大学へ進学し保育士資格を取得。その後、モデルの道に。ミスユニバーサス2018茨城県大会準グランプリ・特別賞受賞。モデル業のかたわら、自らの経験をもとに、親元を離れて暮らす子どもたちへの理解の輪を広げる講演活動や情報発信をしている。2020年4月社会的養護専門情報サイト「たすけあい」を創設。同12月より、児童養護施設や里親家庭から進学する子たちの受験費用をサポートする団体、一般社団法人ゆめさぼ代表理事に就任。著書に『児童養護施設という私のおうち(旬報社)』がある。

<担当スタッフより>

「児童養護施設出身」「モデル」というのはどちらも自分を説明する言葉であるものの、「児童養護施設出身モデル」という発信のされ方に違和感を持たれているという田中さんのお話を通して、自分の経験や自分の持っている肩書、社会にあるイメージとの関係の中で、自分は自分をどう捉えているのか、自分軸がどう形成されてきたのかを考えてみて下さい。また、「自分らしさを活かしながら恩返しを」と、親元を離れた子どもたちを支援されている田中さんから、「自分らしさ」についてもお聞きし、自分らしさと自分軸の関係についても考え、自分自身について考える際の視点を増やしてもらえればと思います。